ハリス理化学館同志社ギャラリー第24回企画展

旧制から新制へ

―同志社大学の挑戦―

入場料無

会　期：2022年1月25日(火)～3月27日(日)　10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日、祝日、ただし、3月21日は開館

会　場：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室(同志社大学今出川キャンパス)

主　催：同志社大学同志社社史資料センター

同志社大学入学試験合格発表日風景　昭和初期

公開講演会(定員65名)

日 時：2022年2月26日(土)13:00～

「新制大学とキリスト教主義学校」

講師：大迫章史氏(東北学院大学教養学部准教授)

会場：明徳館1番教室(同志社大学今出川キャンパス)

講演終了後、展示担当者より会場にて展示概要説明(30分程度)を実施します。
お申し込みは2月1日より、大学HPもしくはQRコードを利用して申込フォームよりお進みください。
※お申し込みの際の個人情報は、申込後の問い合わせや連絡、統計資料作成のためにのみ使用します。
※新型コロナウイルス感染の状況により、実施方法が変更する可能性があります。

展示説明

日 時：2022年1月25日(火)～3月27日(日)

展示期間中、同志社社史資料センターYouTubeチャンネルで担当者による展示解説動画を配信いたします。

ハリス理化学館同志社ギャラリー第24回企画展

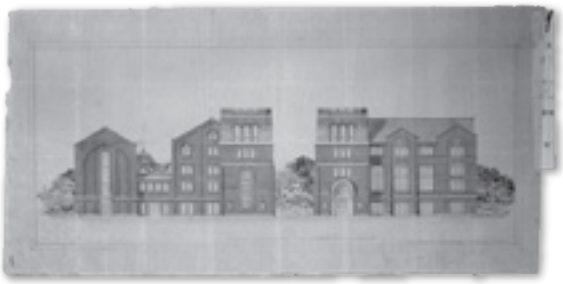
旧制から新制へ ―同志社大学の挑戦―

学帽　昭和時代

1875年（明治8）にわずか8名で開校した同志社英学校（のち普通学校）では、新島在世中の15年間で在籍者数が60倍以上となりました。中等教育に相当する英学校の充実は、新島襄による同志社大学設立運動に象徴されるように、そのまま高等教育の要求へとつながり、同志社は自前の高等教育機関として1890年（明治23）ハリス理化学校、1891年（明治24）同志社政法学校を設立します。これらの学校をベースとして同志社は高等教育を整備していくことになりますが、その過程は、政府が勅令「専門学校令」（1903年）、勅令「大学令」（1911年）を公布し、私立大学における高等教育に法的根拠を与え、同時に強制的に私立学校を文部省管轄下に集約していく過程と重なります。勅令や社会情勢などにより多大な恩恵を受けつつも、特に戦争によるあらゆる影響が私学経営に深刻なダメージを与えたのも終戦前でした。

終戦後、同志社に対する世間の風向きが一変しました。キリスト教に対する逆風が追い風と変わります。同志社はGHQ（連合国軍総司令官総司令部）の民主化政策に歩調を合わせ、多くの大学に先駆けて1948年（昭和23）新制同志社大学を発足させます。その際、同志社大学は文部省が提示する学部の枠組みを超えた新しい教育実践を行うなどして、終戦後の教育の方向性を模索しました。

本展では、こうした同志社の高等教育史を資料で辿ることで、現代に続く同志社の高等教育の原点を考えます。

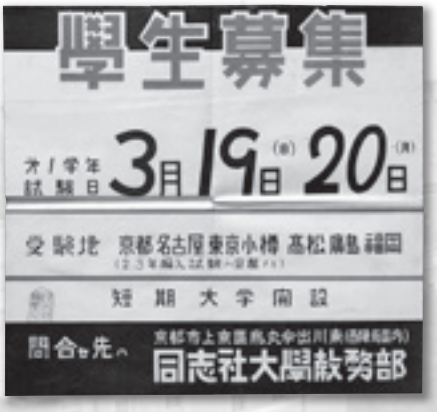


想像図「同志社大学図書館」
W. M. ヴォーリズ建築設計事務所
1917年頃

扁額「致遠館」
徳富蘇峰（揮毫）
1915年

学生募集ポスター
「同志社専門学校法律経済部・英語師範部」
1935年頃

「旧兵器庫改造配置図」
同志社営繕課
1946年



学生募集ポスター「同志社大学」
同志社大学教務部
1950年

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室
（同志社大学今出川キャンパス）
京都市上京区今出川通烏丸東入　京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩5分

お問い合せ先
ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室
Tel. 075-251-2716
同志社ギャラリーホームページ　https://harris.doshisha.ac.jp/

※ハリス理化学館同志社ギャラリーでは、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策を講じています。感染症予防・拡大防止にご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは同志社ギャラリーHPでご確認下さい。